

当院において同種造血幹細胞移植の治療を受けられた方およびその ご家族の方へ

—「同種造血幹細胞移植後の単球の回復速度と予後の検討」へ

ご協力をお願い—

研究機関名およびその長の氏名：岡山大学病院 前田 嘉信

研究責任者：岡山大学病院 血液内科 池川 俊太郎

1) 研究の背景および目的

同種造血幹細胞移植において、感染症や臓器障害、移植片対宿主病（GVHD）は、患者さんの免疫の脆弱性を背景に生命予後へ直結します。移植直後は採血上で確認できる血球がほぼない状態が継続する場面が多く、予後へ直結するイベントを早期に把握することに限界があります。この研究の目的は岡山大学血液内科において同種造血幹細胞移植を受けた患者さんを対象として、移植後早期から回復する単球の推移を解析し、長期的な予後との関連を解明することです。

2) 研究対象者

2017 年 4 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の間に岡山大学病院血液内科において同種造血幹細胞移植の治療を受けた方 500 名を研究対象とします。

3) 研究期間

この研究は研究機関の長の許可日から 2031 年 3 月 31 日の期間で実施されます。

情報の利用開始予定日：研究機関の長の許可日から 1 週間後

4) 研究方法

当院において同種造血幹細胞移植の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに採血データを抽出し、予後に関する分析を行い関連について調べます。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・年齢、性別、同種造血幹細胞移植をうけるに至った病気やその診断日、同種造血幹細胞移植の設定、血液検査の結果、生着不全や GVHD や感染症といった合併症の情報、病気の再発の有無、生存期間、観察期間（当院にて情報が収集できた期間）といった情報を使用します

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間、岡山大学病院血液内科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 二次利用

この研究で得られた情報は、将来、造血幹細胞移植と予後の解析を目的とする研究のために用いる可能性があります。将来、新たな研究が計画され、今回の研究で得られた情報を研究に用いる場合には、改めて研究計画書を倫理審査委員会に提出し、承認を受けます。承認された場合、ホームページでの研究の公開 (<http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/ethics/koukai/>) を行うか、必要に応じて、あらためて研究への同意について確認させていただきます。

8) 研究資金と利益相反

この研究は特段の費用を要しないため特定の研究資金は用いません。

この研究に関して利害関係が想定される企業等で研究責任者や分担者あるいはその家族が活動して収入を得ているようなことはありません。

9) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学病院 血液内科

氏名：永江 健太郎

電話：086-223-7151（平日：9時～17時）